

【読解例と解説】

今回は、古文書（特に一紙文書）の「表題」を課題としました。表題は定型句であるため、使われている文字は頻出文字といえます。

写真③の表題は、「差上申一札之事（さしあげもうすいっさつのこと）」ですが、「差上」は写真②のように「指上」とも書き、同じ意味です。「申（もうす）」は通常は「言う」の謙讓語ですが、この場合は、「～する」という意味です。すなわち、

この表題は「一札（証文の意味）を差し上げます」という意味になります。

同様に写真④は「相定申一札之事（あいさだめもうすいっさつのこと）」で、「一札を定めます」という意味になります。「定」の前につける「相」は、語調を整えるためにつける「相」ですが、古文書の頻出文字です。形を覚えておく

写真⑤…借金の証文にみられます 借用申銀子之事 銀令百五拾匁也 但利足	写真④…あることを定めています 相定申一札之事 一、当村庄屋御用二付	写真③…写真②の文言とよく似ています 差上申一札之事 一、当村法光寺七月寄講之時分、他村方	写真②…⑤の表題を読み、□に文字を記入しましょう。
---	--	---	---------------------------

「相」の用例（一部） 相渡、相改、相済、相成、相尋、相分、相心得、相届、相達・・・
--

写真⑤は「借用申銀子之事（しゃくようもうすぎんすのこと）」で「銀子を借用します」という意味になります。

さて、福井県文書館ホームページの資料検索システム「デジタルアーカイブ福井」(<https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/archive/> 19万件あまりの古文書が検索可能)の簡易検索で、これらの表題の語句をそのまま検索語としてフリーワード検索すると、次の表のようになります。

検索語	検索数(件)
「指上(差上)申一札之事」	1,669
「相定申一札之事」	153
「借用申銀子(金子)之事」	2,739

「デジタルアーカイブ福井」に、検索語と全く同じ表題の古文書がこれだけあるということは、検索語に類似する表題をもつ古文書(〇〇申△△之事の形をとる表題。「相渡申証文之事」など)も相当数あることになります。「デジタルアーカイブ福井」のフリーワード検索で上記の検索語(またはその一部)をもつ古文書を多く閲覧されることをお勧めします。